

J-BAC 会員向けメールマガジン

～ 日本以外の飲酒運転・アルコールチェック事情 Vol.7～

業務委員会・海外班では、各メンバーが分担し、世界の各地域の飲酒運転やアルコール検知器に関連する情報をクリッピングし、会員のみなさまへお届けするメールマガジンを始めることにしました。お時間あるときに、気軽にご覧ください。

欧州担当 : 吉田委員 (SenseAir)
台湾・韓国・中国担当 : 森田委員 (SEIKOIST)
金委員 (SEIKOIST)
三木委員 (SEIKOIST)
東南アジア・北米 : 杉本委員 (東海電子)
編集 : 業務委員会 海外班杉本
2024.10.28

□WHO

<2024年7月 Global Alcohol Action plan 2022-2030 発行>

『アルコールの使用は、その酩酊性、毒性、依存性を持つ特性により、多くの健康リスクと関連しています。有害なアルコール使用が健康に及ぼす影響は広範囲にわたり、**飲酒者だけでなく、飲酒運転や対人暴力の被害者、胎児性アルコールスペクトラム障害を抱える子供など、他者にも影響を及ぼします。**2010年、世界保健機関 (WHO) 総会は「有害なアルコール使用を減少させるための世界戦略」を承認しましたが、その実施は不均一で、アルコール関連の死亡および障害による世界的な負担は依然として高いままです。飲酒の文化的な規範や伝統、強力な商業的利害関係、さらに十分でない統治や資金、インフラの不足が、アルコール関連の有害影響を軽減するための効果的な政策と介入の実施を妨げる要因となっています。

「2022-2030年のアルコール行動計画」は、第75回WHO総会で採択され、「有害なアルコール使用を減少させるための世界戦略」を実行に移し、意図とコミットメントを行動に転換することで、達成可能な成果を上げるために策定されました。この計画を達成するためには、**各国政府、国際機関、国連機関、学術機関、専門団体、そして市民社会組織が一丸となって行動計画の目標に向けて協力することが求められます。**WHOは、すべての加盟国がこのアルコール行動計画を実施し、アルコール関連の有害影響を減少させるための支援を約束し、すべての人が到達可能な最高の健康水準を享受できるという創設時のビジョンを共に実現するために尽力していきます。



<2022年発行 DRINK DRIVING - A road safety manual for decision-makers and practitioners">

本文書は、WHO、グローバルロードセーフティーパートナーシップ、FIA財団、世界銀行が、加盟国の政策立案者や実務者向けに飲酒運転防止政策立案のためのマニュアル・ガイドとして作成したものである。2007年に初版が発行された後、新たな証拠や事例研究を加えて今回改訂されました。

これらの政策集により、簡単で費用対効果の高いソリューションを提案し、世界中で多くの命を救い、交通事故による深刻な負担を軽減することを目指しています。



例えば、よくある飲酒運転防止政策についてこのようなことが示唆されている。

Table 2. Evidence status of drink driving interventions

Interventions	Effective	Promising	Insufficient evidence	Ineffective
Legislation (Section 2.1)				
Setting BAC limits - e.g. BAC limit for the general population not exceeding 0.05g/dl; BAC limits for other driving groups (young/novice drivers, professional/commercial drivers not exceeding 0.02g/dl).	✓			
Penalties that reflect the seriousness of offence (higher penalties for higher BAC levels), and that are graduated for recidivists	✓			
Enforcement of BAC levels (Section 2.1.2)				
Random breath testing (preferred)	✓			
Sobriety checkpoints	✓			
Restrictions on young/inexperienced drivers: (Section 2.2)				
Licensing restrictions - e.g. graduated driver licensing (GDL), including lower/zero BAC for young drivers	✓			
Offender management: (Section 2.3)				
Offender programmes		✓		
Alcohol ignition interlocks	✓			
Alcohol rehabilitation and/or treatment programmes	✓			
Public education: (Section 2.4)				
Designated driver programmes			✓	
Public awareness campaigns (alone)				✓

既存の介入策とその効果を「効果的」「有望」「証拠不十分」「効果なし」に分類。飲酒運転の削減を目的としたプログラムでは、必ず「効果的」または少なくとも「有望」とされる介入策を含めることが強く推奨される。

この文書では、「たんなるキャンペーン」だけやってもダメだと言っている。飲酒運転の基準値を下

げたり、取締におかるアルコールチェック回数を増やす、アルコールインターロックなど、効果が証明されているものを推奨している。

□ICADTS T2025 ポルトガル エントリー開始

3年ごとに開催されるICADTS、今回はポルトガル（前回はオランダ）。

Registration Form ¹	Type I ² Registration for the Conference (Regular fee until November 30, 2024) ²	Type II ³ Registration for the Conference + Sunset Ice Breaker ⁴ + Gala Dinner ⁵ (Regular fee until November 30, 2024)
ICADTS Member	€ 660	€785
ICADTS No-member	€ 780	€905
IFDAT, EWDTS, AIPSEV, TPI, DGVFP, ICTCT, IRVP and TRB - Members	€ 690	€815
Global Alliance of NGOs for Road Safety – Members	€ 490	€615

<https://t2025.org/registration/>

□ヨーロッパ各国の飲酒運転（吉田委員）

1) スペイン

スペイン政府は、来年、すべてのドライバーの血中アルコール濃度を 0.2g/l に引き下げる計画です。（日本の基準値は呼気アルコール濃度で血中アルコール濃度に換算すると 0.3g/l）新しい規制により、スペインは、飲酒運転に関し、ヨーロッパで最も安全な国であるノルウェーとスウェーデンと同じレベルになります。

スペインの現在の一般ドライバーの基準は 0.5 g/l（プロドライバーと初心者ドライバーは 0.3 g/l）一般ドライバーに対する基準値の 0.2 g/l は、ドライバーが運転する前にアルコールを飲むリスクをまったく冒してはならないことを事実上意味します。

欧州運輸安全理事会(ETSC)のアントニオ・アベノソ事務局長は、ETSC と MAPFRE 財団が共同で 10 月 3 日にスペインで開催した飲酒運転に関するフォーラムに先立ち、次のように述べました。

「飲酒運転に関して最もシンプルなメッセージは、安全であります。運転する前にアルコールを飲まないでください。この新しい下限値により、スペインはヨーロッパでリーダーシップを発揮しています。この措置の適切な施行は、多くの命を台無しにされたり破壊されたりすることをなくすことができるでしょう。」

スペインはまた、制限を超えたドライバーがエンジンを始動するのを防ぐことができるアルコールインターロックの推進において主導的な役割を果たしています。スペインでは、新しい大型ミニバス(8人以上を乗せる)やバス、コーチにはアルコールインターロックを装着する必要があります。ドライバーは、アルコール制限を下回っていることを確認するために、毎回の運行の前にデバイスに息を吹き込む必要があります。

欧州運輸安全理事会(ETSC)は、MAPFRE 財団と共同で、2024年10月3日(木)、スペインのマドリードのMAPFRE本部で「Safe and Sober」セミナーを開催しました。

内務省、国家警察、検察官、公共交通機関の代表者が議論を盛り上げました。ノルウェーとベルギーの国際的な専門家が、アルコールインターロックの実績と、自国でのアルコール関連の交通事故死者数を減らすための方策について共有しました。このイベントでは、スペインの飲酒運転の状況の概要も取り上げられ、全国レベルでのアルコールインターロックの可能性について話し合いました。このイベントでは、アルコールインターロック技術の実践的なデモンストレーションが行われました。当日の演題、プレゼンテーション資料は以下です。(クリックすると資料にリンクします。)

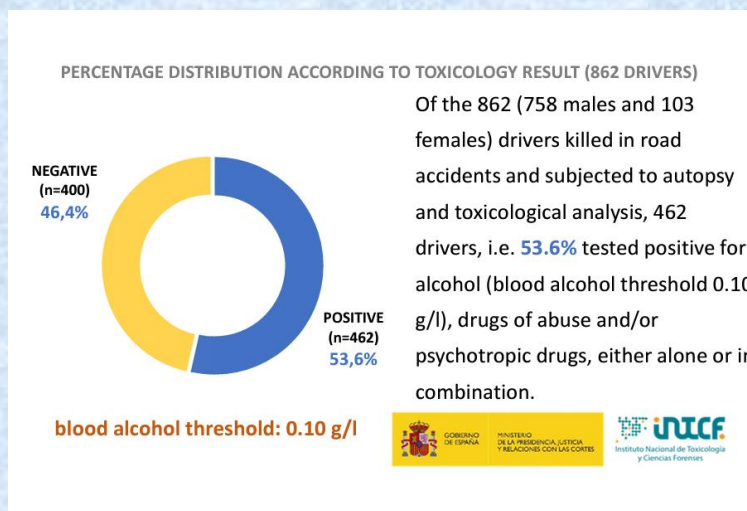
[スケジュール及び演題](#)

https://etsc.eu/wp-content/uploads/Agenda-SaS-Madrid-Final-EN_3-Oct-2024.pdf

・ [スペインの交通事故死者における毒物学の所見](#)

国立法医学、毒物学研究所

<https://etsc.eu/wp-content/uploads/Carolina-Sanchez.pdf>



・ [欧州連合\(EU\)における飲酒運転](#)

欧州運輸安全理事会(European Transport Safety Council)

https://etsc.eu/wp-content/uploads/Safe-and-Sober-Madrid_FP.pdf

・ [ベルギーのアルコールインターロックリハビリテーションプログラム](#)

ベルギー連邦交通局

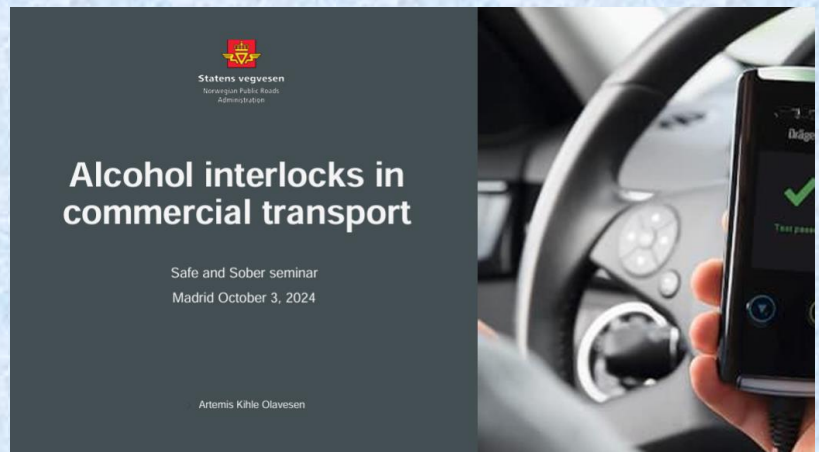
<https://etsc.eu/wp-content/uploads/ETSC-Safe-and-Sober-Madrid-BE-Alcohol-Interlocks-AH.pdf>



・ [ノルウェーの商業輸送におけるアルコールインターロック](#)

ノルウェー公道局

<https://etsc.eu/wp-content/uploads/Alcohol-Interlock-in-Norway-Safe-and-Sober-seminar-3rd-oct.pdf>



(ベルギー)

Baloise Insurance 社は、アルコールや薬物の影響下で交通事故を起こしたドライバーの契約を終了すると発表しました。

b 飲酒事故を起こした保険契約者は、それが初犯であるかどうか、または基準値をわずかに超えていたかどうかに関係なく、保険契約が取り消されます。このポリシーは、以前に飲酒事故を起こしたことがある新規顧客にも適用されます。

ベルギーのほとんどの保険会社は現在、飲酒事故を複数回起こした時にのみ保険をキャンセルしています。Baloise Insurance 社の新しいポリシーは、この規範からの逸脱であり、交通安全に対するより厳格なアプローチを反映しています。Baloise Insurance 社の動きが前例となり、今後、他の保険会社が同様の措置を採用するよう影響を与える可能性があります。

ヨーロッパ各国の飲酒運転基準値（血中アルコール濃度）（単位：g/l）

（日本の基準値より緩い基準値は紫文字、基準値0（いわゆるゼロ許容値法）を赤塗り表記）

国	一般	商用	初心者	国	一般	商用	初心者
日本（参考）	0.3	0.3	0.3				
スペイン	0.5	0.3	0.3	ルクセンブルク	0.5	0.2	0.2
スウェーデン	0.2	0.2	0.2	マルタ	0.5	0.2	0.2
エストニア	0.2	0.2	0.2	ポルトガル	0.5	0.2	0.2
ノルウェー	0.2	0.2	0.2	オランダ	0.5	0.5	0.2
ポーランド	0.2	0.2	0.2	ベルギー	0.5	0.2	0.5
リトアニア	0.4	0	0	フランス	0.5	0.5	0.2
クロアチア	0.5	0	0	ラトビア	0.5	0.5	0.2
ドイツ	0.5	0	0	ブルガリア	0.5	0.5	0.5
イタリア	0.5	0	0	デンマーク	0.5	0.5	0.5
スロベニア	0.5	0	0	フィンランド	0.5	0.5	0.5
オーストリア	0.5	0.1	0.1	イギリス	0.8	0.8	0.8
スイス	0.5	0.1	0.1	チェコ共和国	0	0	0
キプロス	0.5	0.2	0.2	ハンガリー	0	0	0
ギリシャ	0.5	0.2	0.2	ルーマニア	0	0	0
アイルランド	0.5	0.2	0.2	スロバキア	0	0	0

（[Blood Alcohol Content \(BAC\) Drink Driving Limits across Europe – ETSC](#) より引用）

（注）ヨーロッパの場合、基準値は血中アルコール濃度で判断されることが一般的で単位は g/l である。日本の場合、酒気帯び運転で 0.15 という数値が良く出てくるが、これは血中ではなく、呼気アルコール濃度で単位は mg/l である。これを血中アルコール濃度に換算すると 0.3g/l となる。この値も表に記載した。

□東アジア（森田委員）

<中国>

2024 年中国の飲酒運転に関する新しい規制

飲酒運転の根絶を実現するため、2024 年 3 月に中国は飲酒運転に関する新しい規制を導入し、飲酒運転の定義、罰則、予防措置をより明確かつ厳格にしました。

1、飲酒運転基準の変更

①以前に比べて、飲酒運転の基準が厳しくなっています。新しい国家基準では、飲酒運転の上限が 50mg/100ml から 20mg/100ml に引き下げられており、ドライバーの血中エタノール含有量が 20mg/100ml を超えた場合、違法となります。ドライバーの血中エタノール含有量が 80mg/100ml 以上の場合、酒酔い運転と見なされ、刑事犯

罪となります。

②新しい基準はより正確になっています。新しい国家基準では、血液および尿中のエタノールの検出方法を、ガスクロマトグラフィー法と電気化学センサー法二種類に分類しています。前の基準では、ガスクロマトグラフィーのみ実験室での検査方法として規定されていましたが、現場での検査方法は規定されていませんでした。

③新しい基準はより科学的になっています。新しい国家基準では、血液のエタノール量と呼気のエタノール量の換算係数を **2100 から 2300 に調整し**、より厳しくなりました。

2、飲酒運転の罰則基準

①酒気帯び運転と酒酔い運転の判断基準

飲酒運転の類別	閾値 / (mg/100mL)
酒気帯び運転	20~80 未満
酒酔い運転	80 以上

②酒気帯び運転に対する罰則:

	罰金 (RMB)	運転免許	拘留
酒気帯び運転	1000 元~2000 元	6 か月停止	—
酒気帯び運転の再犯	1000 元~2000 元	取り消し	10 日以下の拘留
酒気帯びの時、自動車運送事業に従事した場合	5000 元	取り消し、 かつ五年以内再取得不可	15 日拘留

③酒酔い運転に対する罰則:

	運転免許	刑事責任	その他
酒酔い運転	取消、五年以内再取得不可	法律によって追及	—
酒酔いの時、自動車運送事業に従事した場合	取消、十年以内再取得不可	法律によって追及	運転免許を再取得後、 自動車運送事業の従事は不可
酒酔い運転による重大交通事故	取消、欠格期間は終身	法律によって追及	—

3、罰則の変更

酒酔い運転の罰則に大きな変更がありました。「酒酔い運転による刑事事件の処分に関する意見」が正式に実施されたことにより、酒酔い運転の状況が軽微な場合、起訴されないことや有罪判決で刑を免除することが明記されています。

以下の酒酔い運転は、起訴しない或いは有罪判決で刑を免除することができます。

- ①血中アルコール濃度が 150mg/100ml 未満である。
- ②負傷者や病人の応急処置など緊急時の目的で酒酔い運転することであり、緊急避難にならないものである。
- ③住宅地内、駐車場等の場所で自動車の移動、駐車などのために短距離の運転。
- ④他人が住宅地内または駐車場に運転した後、引き続き短距離の駐車を行う場合、または他人に運転させるため、住宅地や駐車場などから自動車を短距離運転した場合。
- ⑤その他、明らかに軽微な状況。

一部の酒酔い運転は提訴されませんが、訴訟を提起しないからといって処罰がないわけではありません。有罪判決を受けて刑が免除されても、犯罪歴を残すことになります。運転者はもちろん、周りの人々も協力して、飲酒運転をしない、させないようにしましょう。

□東南アジア（杉本委員）

○タイの飲酒規制

2024年4月 JETRO がタイのアルコール飲料に関連する規制強化の動きを伝えている。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/04/8724a63f04610f82.html>

2024年9月、飲酒運転防止 関連法の改正が行われたようである。

<https://thailand.prd.go.th/en/content/category/detail/id/52/iid/326520>

この短信によれば（G 翻訳）

“ 政府は飲酒運転撲滅のため、アルコール検査の新たな方法や特定の年齢層に対する血中アルコール濃度の見直しなど、より厳格な規制を導入した。最近王室官報に発表されたこの規則では、アルコール関連事故を減らす取り組みの一環として、20歳未満の運転手、仮免許を持つ運転手、50歳以上の運転手に飲酒検査、尿検査、血液検査が認められるようになった。

新しい規則は、20歳未満の運転手、仮免許保持者、有効な免許証なしで運転する運転者に対する法定の血中アルコール含有量の制限を1デシリットル当たり20ミリグラムに設定した。50歳以上のドライバーの場合、制限は1デシリットルあたり50ミリグラムです。この規制では、確立された血中アルコールのベンチマークと比較した結果とともに、尿および血液サンプルを収集するための詳細な手順が概説されています。

これらの変更は、陸交通法 BE 2522 (1979 年) の改正の一部であり、1994 年と 2017 年の以前の規制を置き換えるものです。更新された措置は 9 月 3 日に首相によって承認され、9 月 20 日に正式に発表されました。

タイでは交通安全が引き続き重要な懸案事項であるため、複数のアルコール検査方法と年齢別の制限の導入は、飲酒運転法の執行を強化し、障害のあるドライバーによる事故を減らすための重要な取り組みを意味する“

○ベトナム（杉本委員）

交通警察は夜間にアルコール濃度を測定し、多くのバイク運転手に罰金が科せられた

https://atgt.baogiaothong.vn/csgt-do-nong-do-con-ve-dem-hang-loat-tai-xe-xe-may-dinh-phat-192240807104809857.htm#google_vignette

アルコール濃度違反に対する最新の罰金の提案

<https://vov.vn/o-to-xe-may/tu-van/de-xuat-muc-phat-vi-pham-nong-do-con-moi-nhat-post1112731.vov>

ハノイ交通警察はバス停を出発する前にドライバーにアルコールと薬物の濃度をランダムに検査

<https://atgt.baogiaothong.vn/csgt-ha-noi-test-nong-do-con-ma-tuy-ngau-nhien-voi-lai-xe-truoc-khi-xuat-ben-192240827192307575.htm>

都市交通警察。ホーチミン市、ミエンドンバス停留所でバス運転手のアルコールと薬物のレベルを検査

<https://tapchigiaothong.vn/csgt-tp-hcm-kiem-tra-nong-do-con-ma-tuy-tai-xe-xe-khach-tai-ben-xe-mien-dong-183240830125813009.htm>

9月2日の連休初日、2,500人以上のドライバーがアルコール違反で罰金を科せられた

<https://vtcnews.vn/phat-hon-2-500-lai-xe-vi-pham-nong-do-con-ngay-dau-nghi-le-2-9-ar893115.html>

多くの職員がアルコール濃度違反を起こし、庁長の責任が問われることになる

<https://nld.com.vn/de-nhieu-can-bo-vi-pham-nong-do-con-se-xem-xet-trach-nhiem-nguoi-dung-dau-co-quan-196240917212127448.htm>

法務省、アルコール濃度の最低罰則を引き下げる提案の削除を発表

<https://vtcnews.vn/nong-do-con-ar900437.html>

飲酒運転違反件数は減少傾向にある

<https://hanoionline.vn/video/tinh-trang-vi-pham-nong-do-con-ngay-cang-giam-272339.htm>

今号は以上となります。

2024.10.28